

センター通信

少年の健全育成に向けた活動について



阪神北少年サポートセンター
所長 河合 康裕

地域の皆様方におかれましては、平素から少年の非行防止、健全育成活動にご尽力をいただくとともに、警察業務の各般にわたりご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

阪神北少年サポートセンターは、平成11年に伊丹市立総合教育センター内に設置された、兵庫県警察本部生活安全部少年課の施設となります。管轄区域として伊丹警察署、川西警察署、宝塚警察署が管轄する伊丹市、川西市、猪名川町、宝塚市の3市1町を受け持っており、主な業務は、

- ・少年問題に関する相談受理
- ・非行少年等に対する立ち直り支援活動
- ・喫煙、飲酒などの不良行為少年に対する街頭補導活動
- ・青少年にとって有害とされる環境の調査と浄化活動
- ・非行防止教室や薬物乱用教室、各種会議や懇談会等での情報発信活動

など、学校や関係機関と連携して少年の非行防止、健全育成活動を行っており、現在は警察官2名、少年補導職員1名の計3名で勤務をしています。

近年、少年の犯罪検挙・補導人員は減少を続けており、5年前では街頭犯罪の検挙人員のうち約6割を少年が占めていましたが、令和元年は約3割となっており、不良行為少年の補導件数も減少してきています。

その要因として、スマートフォン所有の低年齢化等により、インターネットやSNS等での情報入手や情報交換が盛んに行われ、子供たちの生活環境が大きく変化していることも影響していると考えられます。子供たちはネットの世界でのやりとりを優先し、またそのやりとりを現実に出て話をしているかのように感じています。しかしながら、SNS等でのメッセージのやりとりには、会って話せば伝わるはずの意思や感情が伝わりにくく、トラブルに発展することも多数あります。当センターでは街頭補導や学校での情報モラル教室を通して、トラブルの加害者・被害者にならないようスマートフォンの利用方法等を考える取組についても力を入れています。

新型コロナウイルス感染症が流行し休校が長期に及んだため、今年の夏休みは期間が短くなるなど、子供たちだけでなく大人も例年とは違った期間を過ごされたことと思います。例年と違った今だからこそ、警察や学校、家庭だけでなく地域住民の皆様方とこれまで以上に連携し、子供たちの変化に目を向け、気づき、早い段階で手を差し伸べることが必要だと感じておりますので、引き続き少年の非行防止と健全育成活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

気をつけたい ネットトラブル

① **長時間利用とゲームの中身** ゲーム依存症の状態に進みやすいといわれているのがオンラインゲームです。オンラインで楽しめるゲームは、友達同士で遊ぶため、ついつい長時間利用や課金等でのトラブルが増える可能性があります。CERO（非営利活動法人コンピュータエンターテインメントレーティング機構）は小中学生に人気のゲームの一つに、ゲーム等級はC（15歳以上が対象）、内容を示すアイコンとして「暴力的なゲーム」を示すマークもつけています。ゲームにはオンラインボイスチャット機能（周りにいるプレイヤーと話をしながら遊べる機能）が備わっており、見ず知らずのプレイヤーや友達とおしゃべりしながらゲームでき、あたかも一緒に遊んでいるような楽しいシステムがあります。楽しい反面、乱暴な言葉に傷ついたり、友達とケンカになってしまうなどのトラブルや、また、課金した方が楽しいゲームなので、保護者が知らない間に子どもが高額課金してしまうこともあります。利用時間とともに子どもがどんなゲームやSNSを使っているか関心をもってください。

② **知らない人との出会い** オンラインゲームやSNSをしていると「大丈夫？何かあれば相談してね。」と優しい言葉をかけてくれる人もいます。単なる話し相手と思っていたら、言葉巧みに居場所を聞き出したり、裸や下着姿の自画撮り写真を送らせたりなど、子ども相手に許しがたい卑劣な行為をしてくる場合もあります。「メールや電話、LINEはチェックしているから大丈夫」という声を聞くことがありますが、SNSやゲームそれぞれのサービス毎にメッセージ機能、無料通話やオンラインボイスチャット等がありますので、抜け道だらけです。13歳以上なら誰でも使える人気SNSの中にもDM機能（当人同士しか読めない個人間のメッセージ交換システム）など、大人と子どもが簡単につながるができる場所です。

③ **情報過多、フェイクニュース** 今回のコロナ禍からたくさんのフェイクニュースが流れました。TV、SNS、ネットニュースなど、私たちの毎日ほとんどすべて情報過多になりがちです。情報に振り回されないよう、情報を鵜呑みにせず「変だな」、「本当かな」と疑うことも大切です。正確な情報を得るために、その情報の出所を見つけ、情報の真偽を調べることでネットリテラシーを身につけていくこと、また、日に数時間は情報を一旦オフにして自分の考えや頭の中を整理するための時間をもつことが、情報に振り回されないことにつながっていきます。

《令和2年8月の状況 暫定》

◆電話・来所相談件数
電話相談 5 件
来所相談 1 件
メール相談 2 件

白ポスト設置場所 (市内15カ所)

車塚公園・中野西公園裁判所前・
いたみホール・南センター・安性
児童センター・北センター・阪急
稲野駅・阪急伊丹駅・阪急新伊丹
駅・JR伊丹駅1F・JR北伊丹
駅南口・山田バス停・荒牧バス停
・バラ公園バス停・西桑津バス停

◆有害図書回収状況
有害図書 103 冊
有害AV 192 個

(ゲームなど) 依存症についての相談窓口

ひょうご・こうべ依存症対策センター
(兵庫県在住者専用) # 7330 (なやみされ)
☎ 078-251-5515
開所日時：火～金曜日（祝日・年末年始を除く）
9:30～11:30
13:00～15:30

☆女性児童センター前の白ポストは諸事情により廃止となりました

◆街頭補導状況

	幼少	中	高他	大人
声かけ	690	84	28	201
あいさつ	1060	142	160	475
遊びに関すること	44	8	0	6
交通に関すること	23	22	12	23

◇電話相談 (TEL 072-770-8742)
月・火・木・金曜 / 10:00～19:00
水曜 / 10:00～17:30
土曜 / 13:00～17:00

◇来所相談 (TEL 072-780-3540)
(要予約) 平日 / 10:00～17:00

8月の事案

(少年愛護センターへの通報・ひょうご防犯ネット情報)

日	時刻	場所	事案	概要 (行為者確保・警告等があったものには) ☆印)
6	11:50	森本1	不審者	☆ 男 (170 cm位、紺色半袖シャツ、黒っぽいズボン) が果物ナイフのような刃物を持って逃走、車 (灰色、バンタイプ) で立ち去った。
7	16:30	美鈴町3	声かけ	徒歩通行中の女子児童に、男 (160 cm位、70 歳位、緑色ハット帽、半ズボン、眼鏡) が、「名前は何。」「明日もここに来るんだよ。」と、声をかけた。
11	13:00	昆陽池3	不審者	公園で遊んでいた男子中学生らに、男 (40 歳位、細身、白髪短髪、黒ぶち眼鏡、黒色の車) が「血管浮きで出てるか。写真撮らせて。」と声をかけ、手の甲の写真を撮影後、立ち去った。
19	12:43	千僧4	声かけ	下校中の女兒に、男 (60-70 歳位、着衣不明) が「マスクをあげる。お菓子をあげる。」と声をかけた。女兒が走って逃げると、いずれかに立ち去った。
11	18:20	鴻池1	不審者	下校中の女子中学生に対して、男 (50 歳位、中肉中背、頭頂部には毛髪なく、腰までの長髪を後ろで束ねている、紫色の半ズボン、ボーダー柄の上着) が道路反対側から携帯で撮影した。
27	18:20			下校中の女子中学生に、(同上の) 男 (赤紫色のズボン、黄色の上着) が「お帰り」と声をかけたり、敬礼をした。

< 9月の主な行事 >

2(水) 県下一斉合同補導
4(金) 県青少年補導センター連絡協議会理事会
7(月) 伊丹市少年補導委員連合会役員会
7(月) 伊丹市少年補導委員連合会定例理事会

10(木) 広報啓発活動
25(金) 有害図書回収



(中止) 第2回 愛護補導連絡会 (各小学校)
(中止) 川西市・伊丹市少年補導委員合同補導